

平成 25 年度学校評価結果公表シート

学校法人 大藤学園

1. 大藤学園の教育目標

体	健康で、明るく、たくましい子ども (精神的にも豊かな個性のある意志の強い子ども、どんな困難をもつても克服する努力を続けるたくましい子ども) 健康なからだづくり(マラソン・サッカー・跳び箱・体操)
知	考える力を育てる 知識欲・好奇心が旺盛な子ども 創造性豊かでやる気のある子ども
心	「ありがとう」「ごめんなさい」と素直にいえる子ども 思いやりあるあたたかい心を持つ子ども 美しいものに感動できる豊かな心を持つ子ども

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

今年度は「保育の質を高める」ことをテーマに、幼児の実態・育ちと、カリキュラム・行事と日々の保育のバランスの見直しは学期ごとに継続して行なう。安全・危機管理についての情報の共有化。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
(1) 月ごと・学期ごとのカリキュラム反省は実態と照らし合わせて行なう。	<ul style="list-style-type: none">・カリキュラムをたてる時と、反省時において常に子ども主体で考えることができた。・年間を通すと無理な点と必要な点があったので、次年度に反省を生かしていきたい。
(2) クラス経営、園の一員としての目標と具体的な行動計画を各自持ち、保育の質を高め、よりよい環境作りに努める。	<ul style="list-style-type: none">・一人ひとりが保育の質を高めたいという意識をもって日々取り組んできたことは良かった。・日案において、“ねらい”と子どもたちの“やりたい”気持ちに目を向けることを心がけた。・一日の振り返り、打ち合わせ、反省で各自発表することによりお互いを理解できた。
(3) 事故予防・対応・危機管理について情報の共有化に努める。	<ul style="list-style-type: none">・感染症対策については、職員間で危機管理意識を持ち掃除・環境整備を行なうだけではなく、保護者にも情報を提供し共有できた。・危険個所については、ついでにはその都度の改善・点検を行なうことができた。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・「保育の質を高める」とはどうかを各自が考え、子ども育ちについての理解を深めようと常に意識するようになった。 ・危機管理・対応・対策については、職員ひとり一人が身近に感じて意識をもつようになった。 ・子どもの育ちや現状を捉え、カリキュラムの内容を照らし合わせ考えることが身に付きつつあると感じる。

◎「3. 4. 」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
子どもたちの発達に即した保育カリキュラム・行事・園内環境の改善	子どもたちのより良い育ちを引き出すため、カリキュラムの改善、行事見直しと園内環境を整えていく。遊びこめる環境、目標に向かって取り組める環境作りを考える。
職員間の連携と意識統一をはかる	決まったことや話し合ったことについて、同じレベル、同じ意識で捉えられる様にする。今は考え方や事の重さにバラつきがありすぎるため、結局違う取り組みになってしまう。